

2022年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(秋期・一般選抜) 問題

専門科目 I 心理学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

成

績

2022年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(秋期・一般選抜) 問題

専門科目 I (心理学 専攻分野)

問題Iと問題IIの両方に解答すること

問題I 以下の5課題のうちから2題を選び論述しなさい。解答は次ページ以降の所定の欄にて行うこと。

1. いわゆるコロナ禍における社会現象を一つ取り上げ、心理学的観点からその現象を説明しなさい。

2. COVID-19 の症状の一つとして「味がわからない」という後遺症が残ることが報告されている。この主な原因は嗅覚に障害が残ることだと考えられている。これらを踏まえて、なぜ嗅覚に障害があると味がわからなくなるのかということを感覚・知覚心理学の観点から説明し、味が分からなくなることにより生じる Quality of Life の低下をどのような心理学的工夫により低減できるかについて考察しなさい。

3. 具体的な研究例や代表的な理論モデルをもついて、流行・流言・社会運動といった集合行動がひろがるメカニズムを論じなさい。

4. 態度は行動を予測し得るのだろうか。態度に関する代表的な理論を挙げ、態度と行動との関連性について説明しなさい。

5. 視覚的注意がうまく働く状況とうまく働かない状況について、各々代表的な実験例に複数触れながら論じなさい。

問題 I の 1 題目の解答欄

選択した課題番号（ ）

問題Iの2題目の解答欄

選択した課題番号（ ）

問題II 以下の用語あるいは人名の中から6個を選んで解説しなさい。解答は所定の欄にて行うこと。

- | | |
|----------------------------|----------------------------------|
| 1. Type A behavior pattern | 2. William James |
| 3. anorexia nervosa | 4. operant conditioning |
| 5. pluralistic ignorance | 6. fundamental attribution error |
| 7. self-disclosure | 8. multiple regression analysis |
| 9. perceptual constancy | 10. perceptual completion |
-

問題II の1個目の解答欄 選択した用語番号 ()

問題II の2個目の解答欄 選択した用語番号 ()

問題 II の 3 個目の解答欄選択した用語番号 ()

問題 II の 4 個目の解答欄

選択した用語番号 ()

問題 II の 5 個目の解答欄

選択した用語番号 ()

問題 II の 6 個目の解答欄選択した用語番号 ()

以下余白